



熱戦が繰り広げられました

旧岩手郡の市町村内で ゲートボール交流大会

第25回旧岩手郡地区市町村ゲートボール親睦交流大会は好天に恵まれた7月24日、総合運動公園ゲートボール場で開催され、旧岩手郡の市町村から25チーム（本町からは7チーム）153人が参加しました。

開会式で村中喜代治審判長は、「なでしこジャパンを見習って楽しくプレイしましょう」とあいさつ。このあと、熱戦が繰り広げられ地元・葛巻Cチームが優勝しました。

▶結果：優勝・葛巻C（茶屋義則、荒谷由雄、浅見好延、林勝男、馳田悦雄、土谷要吉）、準優勝・太陽（栗石町）、第3位・石名坂（旧安代町）



気持ちを落ち着かせ、座禅に挑戦する園児たち

気持ちを落ち着かせて 園児たちが座禅に挑戦

お盆を目の前にお作法を身につけようと五日市保育園の園児8人は7月12日、柳善院（恵津森哲夫住職）を訪れ座禅などの体験をしました。

足や手の組み方などを教わった園児たちは、静かに気持ちを落ち着かせ7分間の座禅に挑戦。「静かに座っていると色々な音が耳から入ってきたり、目に見えたりして新しい発見があります。1日1回、ちょっとでもお話しするのをやめて、いろんなことを自分の体で感じてください」と恵津森住職からお話を聞きました。そのあと、廊下を勢いよく雑巾がけをし、元気のよい声が境内に響きました。

盛岡北部畜産共進会で 土谷さん中家さん金賞

第10回盛岡北部畜産共進会は7月3日、岩手町一方井のJA新しいわて種子センター特設会場で開催されました。昨年は口蹄疫の影響で中止となったため2年ぶりの開催。葛巻町、岩手町、盛岡市玉山区からホルスタイン種36頭、黒毛和種75頭、日本短角種24頭、合計135頭の牛が出品されました。

当町からは、黒毛和種の部に18頭出品。第1類（10～12カ月）で土谷諭さん（元木）の「かつぶく号」が、第5類（3産以上）で中家学さん（吉ヶ沢）の「ともみ号」がそれぞれ金賞を獲得しました。



中家学さん出品の「ともみ号」

山ぶどうの剪定を体験 わくわくしながら作業

くすまき高原グリーンツーリズム推進協議会（藤森雅美会長）主催の「くすまき山ぶんどクラブ」夏季剪定体験は7月16日、鍋倉地区の圃場で開催されました。

町内外から山ぶどうオーナーとその家族ら43人が参加。くすまきワインの圃場担当者から夏の枝管理の説明を受け、巻きひげの除去などの作業に汗を流しました。

矢巾町から初めて参加した赤坂彰子さんは「（山ぶどうの）実がなっているからすごうれしくて、わくわくしながら作業しました。空気がきれいで、天気も良くてよかったです」と笑顔で感想を語りました。



巻きひげの除去など作業の説明を受ける参加者



サクラソウの群生地では折れた枝などを除去する葛巻高と小屋瀬中の生徒

いい汗かいて地域貢献 中高一貫で奉仕活動！

葛巻高校と町内の3中学校は7月12日、合同で地域への奉仕活動を行いました。中高一貫教育の総合学習の一環で、町や地域社会に貢献する態度を養い、その一員としての自覚を持つために行っているものです。

炎天下の中、下刈り作業をした與羽芳佳さん（葛巻高1年）は「軽い気持ちで作業に取りかかりましたがとってもハード。森林組合の人たちは、こんなに頑張っているんだなあと実感しました」と光る汗をぬぐいました。

このほか、小屋瀬地区ではサクラソウ群生地の保全やカワシヅユガイの生態調査などを行いました。



きめ細かに少人数指導をしている授業を見学する中学生ら

葛巻高校の一日入学に 過去最多7校から参加

県立葛巻高等学校（高松博明校長）は7月1日、体験入学を開催し町内や久慈市、岩泉町から過去最多の7つの中学校から3年生が参加しました。

参加者は進路ごとに少人数に分け、きめ細やかに指導している授業を見学。そのあと、高校生から学校の紹介などを聞きました。山館太陽さん（葛巻高3年）は「部活動で学ぶことがたくさんあるので、好きな部活動に入って頑張ってください。勉強は、中学校で基本をしっかり学んでいれば大丈夫です」と中学生を励ました。そのあと、中学生はそれぞれ興味のある部活動も体験しました。